

「聖霊と私たちは」

1. はじめに

- ・「使徒の働き」は「聖霊と使徒の働き」

2. 本文

- ・ 29, 30, 31 節 ダビデ…キリストの十字架と復活を預言
- ・ 32 節 私たちはみな、そのことの証人です。
- ・ 33 節 聖霊をお注ぎになったのです。

3. 以上からの展開

1) 弟子たちへの約束

- ・ 父の約束を待ちなさい…神の子とする霊

2) 宣教（伝道）（奇蹟、賜物とは別に信仰者の生き方に係わる聖霊）

- ・ イエスは天に昇られた。聖霊が内在することによって、主とともにあることが現在化した
- ・ あなたがたは力を受けます（1 : 8）
- ・ それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい（マタ 28 : 19）

1. 4 : 8 そのとき、ペテロは聖霊に満たされて、彼らに言った。「民の指導者たち、ならびに長老の方々。～

2. 9 : 31 こうして教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの全地にわたり築き上げられて平安を保ち、主を恐れかしこみ、聖霊に励まされて前進し続けたので、信者の数がふえて行った。

3. 11 : 12 そして御霊は私に、ためらわずにその人たちといっしょに行くように、と言われました。そこで、この6人の兄弟たちも私に同行して、私たちはその人の家に入って行きました。

4. 16 : 6 それから彼らは、アジアでみことばを語ることを聖霊によって禁じられたので、ブルギヤ・ガラテヤの地方を通った。

5. 20 : 23 ただわかっているのは、聖霊がどの町でも私にはっきりとあかしされて、なわめと苦しみが私を待っているとされることです。

6. 20 : 28 あなたがたは自分自身と群れの全体とに気を配りなさい。聖霊は、神がご自身の血をもって買い取られた神の教会を牧させるために、あなたがたを群れの監督にお立てになったのです。

7. 21 : 11 彼は私たちのところに来て、パウロの帯を取り、自分の両手と両足を縛って、『この帯の持ち主は、エルサレムでユダヤ人に、こんなふうには縛られ、異邦人の手に渡される。』と聖霊がお告げになっています。」と言った。

3-1 使徒 1 : 4 彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。

ガラ 4 : 6 そして、あなたがたは子であるゆえに、神は「アバ、父。」と呼ぶ、御子の御霊を、私たちの心に遣わしてくださいました。

3-3

Ⅱコリ5：18 これらのことはすべて、神から出ているのです。神は、キリストによって、私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました。

Iコリ3：6 私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。

4 使徒15：1～5 さて、ある人々がユダヤから下ってきて、兄弟たちに、「モーセの慣習に従って割礼を受けなければ、あなたがたは救われない。」と教えていた。そしてパウロやバルナバと彼らとの間に激しい対立と論争が生じたので、パウロとバルナバと、その仲間のうちの幾人かが、この問題について使徒たちや長老たちと話し合うために、エルサレムに上ることになった。彼らは教会の人々に見送られ、フェニキヤとサマリヤを通る道々で、異邦人の改宗のことを詳しく話したので、すべての兄弟たちに大きな喜びをもたらした。エルサレムに着くと、彼らは教会と使徒たちと長老たちに迎えられ、神が彼らとともにいて行われたことを、みな報告した。

しかし、パリサイ派の者で信者になった人々が立ち上がり、「異邦人にも割礼を受けさせ、また、モーセの律法を守ることを命じるべきである。」と言った。

3) 教会づくり

- ・ 聖霊の中心的働きをとり戻すこと
 - ・ 和解を伝える
 - ・ イエスを信じた者の共同体の中での弟子訓練（イエスの弟子をつくる）
 - ・ 1)、2)、3) は1セット

4) 聖霊の働きを妨げるもの

- ・ 知的誠実さ、ヒューマニズム、個人主義
 - ・ この世の誘惑
 - ・ 判断の仕方は自己中心的